

# OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students



## プロフィール (Profile)

氏名 (Name) 和田知佳  
所属 (School) 工学研究科 電気情報系専攻  
学年 (Grade) M 2

留学先 (Name of overseas institution)  
台南大学

留学期間 (study abroad period)  
2018年8月10日(金)~8月16日(木)  
記入日 (Date) 2018/8/17

## 留学レポート Study Abroad Report

この度、国立台南大学でのサマーキャンプに参加させて頂きましたので、そのレポートを記します。

まず、私がこのサマーキャンプに参加した理由は、サマーキャンプの議論内容である「SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS」、及び台南大学の学生の方との英語でのディスカッションに興味があったためです。実際にサマーキャンプ2日目、および3日目は台南大学の学生の方と SDG や System Thinking, Design Thinking の授業を受けました。授業は英語であったため、普段の授業よりも難しく感じましたが、同じグループの子たちと相談し、お互いに分からないところを教え合いました。授業ではグループディスカッションの時間がいくつか設けられており、お互いに英語で意見を述べ合いました。私はグループの中で一番年上であったことから、グループをまとめる役割をしました。一方で同じグループの台南大学の学生の方は、専攻が Business Management であったことから、私では思いつかないような意見をくれました。日本人も台湾人も英語がネイティブではないので、意見を共有し合うことは大変でしたが、その分相手の意見を集中して聞き、絵なども使い、分かりやすく伝える努力をお互いがしていたと思います。

3日目の後半以降は各グループが1つの問題提起を行い、その解決策を考えるワークショップを行いました。私たちの班は「大気汚染問題」について議論を行いました。きっかけは、台南学生の方が外出時にマスクを必ずしていることに、私が疑問に感じたことでした。フィールドワークではマスクをつける頻度や不快感があるかなど、現地の方へインタビューを行いました。フィールドワークでは、台南大学の学生が私たち日本の学生を引っ張ってくれました。問題への解決策を考える際には、授業で学習した System Thinking を使い、論理的に解決策を導く努力を行いました。初日では、みんな恥ずかしそうに議論していたのに対し、この段階では、みんな積極的に意見交換ができていたと思います。グループワークではお互いの役割を真剣に取り組み、最高のチームワークでした。このサマーキャンプに参加する前は、英語でグループディスカッションが上手くできるか不安でしたが、実際はまったく問題ありませんでした。最後のプレゼンテーションでは、グループメンバー全員が発表に参加し、グループのアイデアの導出課程や、アイデア内容について発表しました。発表30分前には、みんなが焦りだして各々の原稿をつぶやいている姿は面白かったです。この英語でグループワークをやりきった経験は私の自信になりました。



台南大学の外観



グループワーク時の様子

